



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東  
 コード番号 7448 URL <https://www.jeansmate.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富澤 茂  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 佐藤 信治 (TEL) 03(5738)5555  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,161	△5.0	137	△29.6	138	△30.2	124	△21.0
2019年3月期第1四半期	2,276	—	195	—	198	—	157	—

  

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	8	64	—	—
2019年3月期第1四半期	10	94	—	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,500	3,540	78.7
2019年3月期	4,722	3,416	72.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,540百万円 2019年3月期 3,416百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	8,850	3.1	175	91.5	185	76.0	85	325.6	5.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	16,101,466株	2019年3月期	16,101,466株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,728,301株	2019年3月期	1,728,281株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	14,373,178株	2019年3月期1Q	14,373,326株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながらアパレルファッション業界におきましては、都心部での堅調なインバウンド需要は見られるものの、ファッション消費全般では消費者の購買行動の多様化や根強い節約志向、不安定な気温変化によるシーズン商材の立ち上がり時期の遅れ等もあり、総じて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社は今期より推進するMDサイクル適正化に向けた取組み(タイムリーな売価変更を行うことで在庫と粗利率をコントロール)により、売上総利益率が51.5%、在庫原価前年同期末対比:77.4%(前期差△425百万円)となりました。併せて継続注力している販管費削減の取組みにより、売上販管費比率は45.2%と前期から引き続き抑制傾向を維持出来ており、収益構造の改善が現れております。

商品面におきましては、前期からの取組みであるランキングMD(展開商品をランキング分けし、ランキング付けされた商品毎に奥行や打出しに強弱を設定)に今期も引き続き注力することで、Sランクに設定したB.S.T(Blue Standard)やOUTDOOR PRODUCTS等のプライベートブランド(PB)アイテムで、継続的にヒット商品を開発することが出来ております。

また、堅調なインバウンド需要に応えるべく、Championを中心としてナショナルブランド(NB)のブランド数と展開数量を拡充し、並行して免税対応店舗を32店舗まで拡大(前年同期比13店舗増)した事で、免税売上が前年同期間対比125%と大幅に伸長しました。

加えてレディース及び雑貨部門に関しても、引き続きトレンドでもあるNBの服飾雑貨の拡充や、OUTDOOR PRODUCTSブランドのレディース商品の充実を図るなど、女性客増に向けた取組みを実施した事で、堅調な売上推移となりました。

店舗展開におきましては、マルチブランド型MDショップ「JEM」(ジェイ・イー・エム)業態を1店舗、「OUTDOOR PRODUCTS」業態では熊本県初となるイオンモール熊本店を含む2店舗、合計3店舗を商業施設へ出店いたしました。これらの結果、当第1四半期会計期間末の総店舗数は79店舗(うち雇事契約2店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,161百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益137百万円(前年同期比29.6%減)、経常利益138百万円(前年同期比30.2%減)、四半期純利益124百万円(前年同期比21.0%減)となり、前期から2期連続で第1四半期営業黒字化を達成いたしました。

また当期間における、1人あたり売上高、1坪あたり売上高、在庫回転率等の各種業績指標は、いずれも改善しており、事業の健全性は更に高まっております。

今後も、立地別MDの強化・MDサイクル適正化・2020年に迎える創業60周年に向けた取組み等、各種重点施策へ注力する事で通期業績予想数値の達成を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ222百万円減少し、4,500百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ248百万円減少し、3,128百万円となりました。これは主に現金及び預金が208百万円減少、商品が43百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ26百万円増加し、1,372百万円となりました。これは主に有形固定資産が15百万円増加、敷金及び保証金が12百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ346百万円減少し、960百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ338百万円減少し、593百万円となりました。これは主に買掛金が191百万円減少、未払金が65百万円減少、賞与引当金が43百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ7百万円減少し、367百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ124百万円増加し、3,540百万円となりました。これは主に四半期純利益を124百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績については概ね当初計画通り推移しており、2019年5月15日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。今後業績予想の修正が必要になった場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,474,352	1,265,990
売掛金	285,021	273,085
商品	1,504,664	1,461,641
その他	113,098	128,135
流動資産合計	3,377,136	3,128,852
固定資産		
有形固定資産	151,629	166,889
無形固定資産	8,285	7,810
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,180,334	1,193,108
長期未収入金	167,510	167,180
その他	5,553	4,215
貸倒引当金	△167,510	△167,180
投資その他の資産合計	1,185,888	1,197,324
固定資産合計	1,345,803	1,372,024
資産合計	4,722,940	4,500,877
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	411,973	220,421
未払金	263,271	197,413
賞与引当金	76,018	32,107
資産除去債務	—	1,115
その他	181,112	142,397
流動負債合計	932,375	593,456
固定負債		
資産除去債務	296,378	299,229
その他	78,152	68,014
固定負債合計	374,530	367,244
負債合計	1,306,906	960,700
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,338,387	2,338,387
資本剰余金	2,448,009	2,448,009
利益剰余金	△109,036	15,113
自己株式	△1,261,326	△1,261,332
株主資本合計	3,416,034	3,540,176
純資産合計	3,416,034	3,540,176
負債純資産合計	4,722,940	4,500,877

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,276,478	2,161,622
売上原価	1,069,142	1,047,854
売上総利益	1,207,336	1,113,768
販売費及び一般管理費	1,012,211	976,462
営業利益	195,125	137,305
営業外収益		
受取利息	1,745	0
受取賃貸料	2,325	—
その他	1,841	1,165
営業外収益合計	5,911	1,165
営業外費用		
賃貸費用	2,325	—
その他	441	156
営業外費用合計	2,766	156
経常利益	198,270	138,314
特別損失		
減損損失	12,437	—
店舗閉鎖損失	2,298	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,144	—
特別損失合計	15,879	—
税引前四半期純利益	182,391	138,314
法人税等	25,167	14,164
法人税等合計	25,167	14,164
四半期純利益	157,223	124,149

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。